

令和 7年 3月 吉日

保護者の皆様

高槻市立第二中学校

校 長 堀田 好江

令和6年度の学校評価について

早春の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、今年度の学校教育活動を振り返り、重点目標についての代表的な取組と今後の対応をまとめましたのでお知らせいたします。この一年間、行事や実習などを行うにあたり、保護者や地域の皆様には多大なご協力をいただき誠にありがとうございました。学校評議員の皆様のご意見や、学校教育アンケート結果を踏まえ、今後も改善してまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

1. 学校教育目標・教育方針

【教育目標】 自ら考え行動する力、協働して生きる力をはぐくむ

【めざす生徒像】 ① 互いを尊重し、自分も他人（ひと）も大切にできる生徒

② 主体的に学び続け、よりよく生きようとする生徒

③ 命を大切にし、安全で健康に生活できる生徒

2. 本年度の重点目標、主な取組と今後の対応

(1) 安全、安心な学校づくり

生徒指導の充実

生徒の心と体を守る危機管理体制の充実

いじめ防止対策の充実

- 学校におけるいじめ防止対策の取組については、いじめ不登校対策委員会を中心にいじめの未然防止や早期発見・早期対応を組織的、計画的に推進しています。生活アンケートや生徒対象の教育相談を定期的に行い、生徒が相談しやすい機会を設け、いじめなどの人間関係のトラブルの早期発見、早期解決に努めてきました。また班長会議等も活用するなど、生徒が安心して学校生活を送ることができるよう取り組んでいます。今年度もいじめ防止プログラムを実施しましたが、学校教育アンケート等の結果から有効であったと感じております。今後も丁寧な生徒面談、相談体制の充実に努めていきます。
- 施設設備の安全点検は毎月定期的に行っています。今年度は避難訓練を4回実施しました。5月は地域別集合訓練を、7月は地震発生を想定した避難訓練を、11月には不審者侵入を想定した実地訓練を、1月には地震後の火災を想定したグランドへの避難・集団下校訓練を行いました。様々な状況を想定した訓練を行うとともに、高槻市の副読本「安全NOTE」を活用し、災害に備え、災害時に自ら判断して行動できるよう安全教育を進めていきます。また、教職員研修として AED を使用した救命処置訓練や、熱中症、けがによる大出血、意識不明瞭など様々な緊急事態を想定した実地訓練を実施しました。今後も教員の臨機応変な対応力の強化を重要課題として取り組んでいきます。

- 4月に NIT 情報技術推進ネットワークの方を講師として招聘し、全学年対象の SNS 講演会を実施しました。中学生の SNS の利用率が高まる中、どのようなことに気をつけ、どのように使用すれば良いのか、実際にあったトラブルや犯罪、被害の事例を交えてわかりやすくお話いただき、危機意識や情報モラルの向上につなげました。また、7月には生徒会執行部による「SNS についてのプレゼンテーション」を行いました。事前に生徒アンケートを行い、SNS 使用率や利用アプリ、想定されるトラブルについてまとめるなど、生徒から発信することで SNS トラブルをより身近な問題としてとらえ、よりよい使い方について考える機会となりました。
- 高槻警察署のご協力の下、4月には1年生を対象に交通安全教室を、5月には2年生を対象に犯罪非行防止教室を実施しました。被害者にも加害者にもならないよう、自分の身を守るための行動の大切さを学ぶことができました。
- 「安全で安心して過ごせる学校」であるためには、生徒の居場所づくりや仲間との絆づくりとともに、教員との信頼関係が不可欠であると考えています。学校教育アンケート項目「悩み事などの相談に乗ってくれる先生がいる」については85.3%（前年度比+4.7p）となりました。教育相談など生徒が安心して教員に相談できる環境が今後必要だと考えます。学校へ行くのが楽しいと感じる生徒がもっと増えるよう、友達関係、教員との信頼関係をより深めるとともに、主体性を育み分かる授業づくりに取り組んでいきたいと思ひます。



		R6年度	R5年度
アンケート項目	学校へ行くのが楽しい	82.6%	82.7%
	学校行事は楽しく積極的に参加している	85.1%	85.1%
	クラスは居心地がよく楽しい	81.6%	85.9%
	悩みを相談できる友達がいる	87.8%	88.4%
	悩み事などの相談に乗ってくれる先生がいる	85.3%	80.6%
	私はルールやマナーを守っている	90.9%	91.6%
	学校では定期的に避難訓練や防犯訓練が実施されている	85.3%	67.6%
	自分が頑張ったことを認めてくれる先生がいる	90.0%	87.6%
	間違ったことや悪いことをした時に注意してくれる先生がいる	92.0%	93.7%
	先生はいじめなど私たちが困っていることに対応してくれる	89.8%	88.9%
	先生はお互い協力しあっている	89.6%	88.0%

(2)わかる授業づくり(学力充実)

主体的、対話的で深い学びに向けた授業改善 生徒一人1台端末・ICT 機器を活用した授業づくり

- 第二中学校区では令和5年度より2年間、高槻市教育センターの委嘱を受け、「個別最適な学びと協働的な学び」について研究実践を進めてきました。今年度は大阪教育大学の森本和寿特任講師のご指導の下、児童生徒が主体的に考え協働して学ぶ授業づくりについて、校区の小中学校で教職員研修会や研究授業を行いました。12月の研究発表会では本校1,2年生の3クラスで研究授業を行い、教育センター指導主事の先生に指導助言をいただきました。学校教育アンケートにおいても授業に関する項目はほとんどの項目で数値が上昇しています。今後も授業の質の向上と生徒の学力の向上、学ぶ姿勢の向上を目指して取組を進めていきます。



- 一人1台の端末を活用し、生徒が主体的に考え協働して学ぶための授業づくりを推進しました。調べ学習やプレゼンテーションを行う場面も多くの授業で見られました。授業だけでなく、行事や委員会などでも端末を用いるなど、生徒たちはPCを日常的に使いこなしており、ICT機器は本校教育活動において不可欠なものとなっています。
- 生徒が意欲をもって学習課題に向き合い、他者と協働した対話的な学びを深めるためには、教員が教材や指導法についての授業改善を進めるとともに、信頼しあえる学習集団作りも大切だと考えています。授業が生徒にとって安心して学べる場であるよう、今後も学校として取り組んでいきます。

		R6年度	R5年度
アンケート項目	分かりやすい授業が多い	82.0%	80.4%
	教え方や教材を工夫している先生が多い	88.2%	87.7%
	授業でわからないことを先生に質問しやすい	84.4%	80.5%
	通知表はわかりやすく自分の成績に納得している	86.3%	86.2%
	私(生徒)は授業に意欲的に取り組んでいる	86.0%	85.2%
	私は宿題や予習復習などの家庭学習をしている	74.3%	74.2%

(3) 豊かな心の育成(心の教育)

生徒会活動の充実 道徳の授業・人権教育や総合的な学習の充実

- 生徒の主体性や自己肯定感を育むため、生徒会活動は生徒が企画し実行するよう支援を行いました。執行部や各委員会が例年行っている多くの取組に加え、給食盛り切りプロジェクトや七夕、二中祭など全校生徒によるレクリエーション、各学年レクリエーションなどを生徒が自分たちで企画・運営しました。体育祭については執行部と生徒会専門委員会の生徒が中心となって当日の運営を行いました。クラス対抗種目の練習を重ねる中で、生徒たちは競技の結果ではなく仲間と全力を尽くしたことに価値を見出すようになりました。また、後輩に自分たちの頑張る姿を見せることや先輩の活躍を見ることが生徒たちの大きな成長につながっています。
- 総合的な学習の一環として、地域と連携した防災学習を3年生は7～10月、1年生は12～2月に行いました。地域の方にご講演をいただいた後、自分たちの住む地域に将来起こりうる災害被害についてや、自分の身を守るための防災知識、地域に住む多様な人々とともにどのように生き延びるのかなど、グループで探究学習を進めました。総合的な学習の発表会には多くの保護者の方々にも参観いただきました。生徒たちは学習を通して、地域の一員としての自覚と責任を感じることができました。
- 2年生は総合的な学習で「働くこと」について考える取組を行いました。9月には高槻市青年会議所のご協力のもと、「仕事の達人講座」を実施し、地域に貢献されている働く方々のお話を聞き、社会参画することの意義や仕事のやりがいについて考えました。11月には2日間の職場体験学習を行い、そこで学んだことや仕事を通して見えてきた社会の課題についてグループでまとめ、2月に総合的な学習の発表会を行いました。自分が今後どのような形で社会にかかわっていくのか、や自らの生き方について考えを深めることができたと思います。
- 1年生のパラリンピックキャラバン、LGBTQ についての講演、2年生の職業聞き取り、3年生の卒業生の講演など、今年度も外部の方々を講師とした取組を行いました。子どもたちが人権意識を高め、夢や目標を持てるよう、ロールモデルと出会う機会を増やす取組やキャリア教育をこれからも推進していきます。



		R6年度	R5年度
アンケート	総合的な学習は興味深く将来役に立つと思う	80.7%	78.4%
	命の大切さや社会のルールやマナーについて学ぶ機会がある	90.4%	89.1%
	お互いの人権を大切にすることを学ぶ機会がある	91.1%	90.4%
	生活規律や学習規律などの基本的習慣について指導されている	90.4%	89.6%
	自分の生き方や将来について考える機会がある	89.2%	86.8%
	学校では健康管理や体力づくりに取り組んでいる	89.9%	86.6%
	学校ではいじめ防止について考える機会がある	90.7%	82.4%
	私は自分の体のことを考え給食を好き嫌いなく食べている	82.5%	79.7%

(4) 信頼される学校づくり

学校行事の公開、情報発信 地域・保護者との連携 外部人材・外部資源の活用

- 多様性理解や防災学習、働くこと、防犯教育、本校卒業の高校生による講演など、今年度も多くの外部の方々を招聘しての教育活動を実施しました。生徒にとって意義の大きい取組であり、今後も継続していきたいと考えています。
- 小中連携・幼中連携など、校区学校園で連携した教育活動を推進しています。11月に本校で実施した小6体験授業では、二中校区の小学6年生が生徒会執行部による学校説明を受け、9教科の授業体験をしました。執行部は小学5年生についても校区小学校で学校説明会を行い、2月には小学校で朝のあいさつ運動を実施しました。小学生にとっては交流することで中学校生活への不安を和らげる、そして中学生にとっては、自己肯定感・自己有用感を育む取組となっています。また、11～12月には本校3年生が校区保育園と連携し保育実習を行いました。
- 地域教育協議会主催のクリーンキャンペーンにはPTAの方々とともに多くの生徒、教員が参加しました。部活動単位でのグループに分かれ、校内や二中校区の清掃活動を行いました。また、12月には青少年健全育成協議会主催のスケート教室も開催されました。地域の方によるアイスホッケー教室もあり、生徒も教職員も楽しい時間を過ごしました。
- たくさんの方々のご協力のもと、今年度も創意工夫しながら教育活動を実施してきました。学校・家庭・地域がつながり、共に子どもたちを見守り、育てられるような取組を大切にしていきたいと思います。今後とも、第二中学校をご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。

《学校評議員会の方の主なご意見》

- ・アンケートでは肯定的な回答が8～9割とどの項目でも高い数値が出ており、学校としての取組が効果を上げていると言える。一方で、否定的な回答をしている生徒がいることについてもしっかり検証し、改善を図ってほしい。
- ・教育相談について、担任以外の先生にも相談できる機会があるのはよいと思う。
- ・避難訓練や防犯訓練について、年々取組を強化しているのがアンケートからうかがえる。教職員研修では管理職が不在のケースを想定した実地訓練も行っていて大変良いと思う。